



2 エッセイ／“おかね”を語る
有川 浩 作家 未来への投資



4 インタビュー／扉を開く
名児耶秀美 アッシュコンセプト代表
デザインで心を揺さぶり地域を動かす



9 地域の底力——長崎県東彼杵郡波佐見町
庶民の器「波佐見焼」が誘うもやいの心

16 対談／守・破・創
小飼雅道 マツダ株式会社 代表取締役社長兼 CEO
白井さゆり 日本銀行政策委員会審議委員
一隅を照らす独自のモノづくり



20 新連載 お金の源——素材の歴史と作り方①
銅貨 松村恵司 奈良文化財研究所長

24 FOCUS → BOJ ⑭ 日本銀行が担う「政府の銀行」の仕事「業務局」
国民一人一人が、国とのお金のやりとりを安心して
行えるという「当たり前」を日々実現する仕事

28 日本銀行のレポートから
「地域経済報告」(さくらレポート) —2015年1月—
地域の視点「各地域における中小企業の現状と活力ある企業の特徴」

32 トピックス
金融高度化セミナー(公民連携ファイナンス)を開催 ほか



35 AIR MAIL from Washington, D.C.
ワシントンD.C. 周辺の交通事情

表紙のことば



表紙・画 北村公司

日本銀行高知支店は、日本銀行の第二四番目の支店として、昭和十八年（一九四三）十一月に開設されました。今回表紙に掲載したのは、二代目店舗です。初代店舗は、開設から二年にも満たない昭和二十年（一九四五）七月の空襲により金庫館を除き焼失してしまいました。ちなみに、金庫は空襲の三日後に開扉、現金に異常はなく、焼け残った地元の銀行に仮店舗を設け営業を継続しました。終戦後の昭和二十一年（一九四六）十月に、焼け残った金庫のある元の場所に、バラック建ての仮営業所等を設け復旧しました。そして、資材の入手難やインフレ進行等の戦後の悪条件の中、昭和二十三年（一九四八）五月に、二代目となる表紙の店舗が新築されました。新築後、当地の経済成長に合わせて、金庫の収容力の増強を図るため、新たに金庫館一棟を増築しました。二代目店舗は、昭和四十三年（一九六八）、現店舗に改築されるまでの二〇年にわたり、数次に及ぶ台風被害にも負けず、高知を見守り続けました。